

講 義 名	事業創出論(Practical Business Establishment)		
開 講 時 期	前学期	単位数	1 - 1 - 0
担 当 教 官	百合本安彦 講師 号館 階 号室（内線）		

【講義のねらい】

本講義は、実際数多くのベンチャー企業に様々な支援を行っているビジネス・インキュベーターである現役コンサルタントが講義を行います。インキュベーション事業を通じて蓄積された実践的なノウハウをベースに、起業前夜から株式公開までのステップをあたかも疑似体験することで、新規事業の創造を貫徹するだけの体系だった知識とノウハウを習得することがねらいです。また、講義と並行して、各自事業計画を策定することによって、講義で身に付けた知識・考え方を実際活用し、体得します。

【講義計画】

第1回 「オリエンテーション」

- 講義運営について（講義の目的、講義の進め方、求められる成果、評価方法）
- 起業家とベンチャーキャピタルとの関係

第2回 「起業という選択～起業前夜」

- グーグル等シリコンバレーベンチャー企業経営者の経歴及び起業経緯
- 日本のベンチャー企業の実態
- 起業という生き方の薦め

第3回 「技術を事業化する」1 - ビジネスモデルの作り方

- 製品化までのプロセス
- 誰がお金を支払うのか
- プライシング / 課金 / 回収方法
- 勝負のタイミング

第4回 「技術を事業化する」2 - 市場をどう捉えるか

- セグメンテーションの考え方
- 市場リプレイス
- 市場創造

第5回 「技術を事業化する」3 - 競合優位性を磨く

- 顧客はどの他社と比較するのか
- 技術を強みに変えるには

第6回 「市場を切り開く」

- 営業・マーケティングの重要性
- 販売方法の確立
- 販売形態の選択
- どのように商品を認知させるか

第7回 「なぜ事業計画が必要なのか」

- 事業計画の意義
- 事業計画に必要なこと
- 事業計画からアクションプランへ

第8回 「失敗しない資本政策の作り方」

- 資本政策の意味
- 事業計画とした連動した資本政策を作る
- 失敗事例から学ぶ資本政策作成の留意点

第9回「資金調達を成功させるために」

- 出資か、借入か？
- 自己資本 / 他人資本
- 投資家の目 / 銀行の目
- 投資家 / 銀行との交渉
- 助成金 / 補助金の有効活用

第10回「数字に強いことが社長の条件」

- 自社のキャッシュフローの現状を把握する
- コストをコントロールする

第11回「ベンチャー企業にとっての知財戦略」

- 知財戦略の重要性
- 攻めの知財戦略 / 守りの知財戦略
- 強い特許を作るには

第12回「成長戦略としての株式公開（IPO）」

- なぜ、IPO するのか（IPO はゴールではない）
- 最近の IPO 事情
- 失敗した IPO 戦略
- IPO のメリット / デメリット

第13回

「M & A 戦略」

- 海外買収事例に学ぶ

「成功する企業、失敗する企業」

- 技術者が経営者として成功するために

「企業家としての倫理感」

- ライブドア事件の教訓

【成績評価】

自分の研究テーマまたは、関心のある分野をベースにしたビジネスに関するレポートを作成します。作成したレポートを成績評価の対象としますが、講義への参加回数も考慮します。

【テキスト等】

特にありません。必要に応じて資料を配布します

【担当教官から一言】

「起業」「ベンチャー」等の言葉がマスコミに広く取り上げられるようになりましたが、学生の皆さんにはベンチャー企業の現場がどのようなものか想像しにくいと思います。本講義は、生の事例にふんだんに活用した日本でも類を見ない実践的な内容になっていますので、ベンチャー企業経営を擬似体験しながら正しい知識を習得できます。将来起業を目指す人はもちろんのこと、学内又は企業内での技術開発、新規事業開発等に携わる人にも是非受講して頂きたいと思います。